慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	序
Sub Title	
Author	十時, 嚴周(Totoki, Toshichika)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1981
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.54, No.3 (1981. 3) ,p.5- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	遠峰四郎教授退職記念論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19810315--005

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

遠峰四郎教授は昭和五十六年三月をもって法学部を定年退職されることになつた。昭和三十三年四月専任講師として法学部に参加されて以来、先生の法学部ご在職の期間は二十三年の長きにわたる。在職期間中、主として、『中近東地域圏研究』ならびに『イスラム法』の講義を担当してこられた。

先生のご研究は、中近東研究、就中、イスラム法の研究をご専門とされ、これまで多くの優れた研究業績を残してこられた。戦前の昭和十六年八月、回教圏研究所助手として研究生活を始められて以来、終始一貫してイスラム世界の研究に没頭してこられたのである。近年、オイルショックならびに世界情勢の変化にともない中近東地域の研究が強く要請されるようになつたが、その三十数年以前からの専門研究者であられる。

法学部機関誌『法学研究』は、戦後、しばしば「退職者記念論文集」を刊行してきた。「遠峰教授退職記念論文集」はその一〇番目に該当する。退職者記念論文集を刊行する意義は、学部の長い歴史のなかでその時代その時代を担つてきた専任者の確乎とした功績を称え、あとに続く後進への道標とせんがためである。その記録は、また、学部の歴史に長く止められることになる。

多くの先輩がそうであつたように、制度としての定年退職は止むを得ないこととはいいながら、先生のご退職は誠に惜別

の念を禁じ得ない。永年にわたる法学部へのご献身と穏やかな先生のお人柄を偲びつつ、ここに深い感謝の念をもつて記念論文集を刊行する次第である。

ご退職後も、ますますお元気でご活躍されんことを祈つて止まない。

昭和五十六年三月

法学部長　十　時　嚴　周